

並行在来線 新しい動きが

閣議後 記者会見 前原国交相が 12月1日
JRの「覚悟」求める発言

北陸新幹線が金沢まで延伸をすることになる訳ですけど、そうすると北陸本線や、或いは沿線の在来線ですね、並行在来線というものは複数の県に跨ぐということになる訳でございます。勿論複数の県で並行在来線を受け持つという考え方もあるかもしれませんが、他方で北陸線は1日に40本以上のJR貨物が通っております。

そういう意味では貨物輸送の大動脈であることも間違い無い訳でございますし、我々が今省内で検討している交通基本法の中にはモーダルシフトというものも掲げさせて頂いております。鉄道貨物というのは極めて重要な、環境の面からしても、大事なポイントだと思っておりますので、そういった様々な観点を入れたものを12月中に新しい基本的な考え方としてまとめて、そして提示をし、その前提でも本当に整備新幹線をと、今ご指摘のあった長崎も含めて色々な地域にご提示をし、私が地域に覚悟はおありですかということもいつも申し上げているのは、そういう前提でも本当に整備新幹線をというお気持ちがあるのかどうか。

覚悟はやはり事業者であるJRにも求めていかななくてはならないと思っています。

現在までの整備新幹線というもののあり方はJRにとっては極めてリスクの低い、いいお話でありましたので、そういうことも含めて少し新しい考え方をまとめて、様々な観点から自治体、事業者に議論して頂きたいと考えております。

(国交省のホームページより)

12月15日には新たな基本方向が打ち出されています

自民党 整備新幹線調査会 並行在来線はJRで

12月11日、自民党の整備新幹線等鉄道調査会と整備新幹線建設促進議員連盟の合同会議が開かれ、森喜朗元首相は「並行在来線の地方負担の在り方を含め検証する姿勢の前原国交相を『賢明だ』と評価。北陸線がJRから経営分離された場合の問題点を挙げ、国交省鉄道局に対し『地域の思いを前原氏にしっかり進言してほしい』と求めた」(「富山新聞」12月12日付)

募金のお願い

当「会」は会費制ではなく、会員のみなさんの募金で運営しています。

募金にご協力をお願いします。

役員は、奥村義雄代表世話人をはじめ、これまでの世話人の方に引き続きお願いすることになりました。

九州新幹線「長崎ルート」並行在来線の視察・調査報告をご覧ください。

十二月五日、第9回総会が開催されました。整備新幹線の建設に伴う並行在来線をJR経営から分離するとして前政権の「政府・与党合意」の見直しを求める私たちの運動に、新たな局面があらわれていきます。

この新しい状況のもとで、「政府・与党合意」の見直しを求めてきた私たちの取り組みの到達点に立つて、JRの社会的役割を求める「新たな提言」を作成する、並行在来線・北陸線について利用者・住民アンケートを実施する、鉄道貨物について調査する、コミュニケーションバス問題の調査など、来年度の活動方向を話し合いました。また、来年は当会が結成されて十周年に当たります。そこで「並行在来線サミット」(仮称)など記念企画を検討することになりました。

この間の主な取り組み

- ・2008年10月 愛知大学「鉄道未来学」へ講師派遣
- ・2009年3月28、29日 北信越5県連絡会 石川県で
- ・6月6日 愛と義の行進(糸魚川・妙高間の信越本線沿線行進)に代表派遣
- ・6月28日 北陸新幹線の建設で北陸本線はどうなる Part4 シンポジウム 県境分離はなぜいけないのか 新潟、石川からパネリストを迎え、約60名が参加 記録集を発行(パンフは10冊に)
- ・9月4・5日 有志で、九州新幹線「長崎ルート」視察・調査(佐賀・長崎県など)
- ・9月14日 日本大学桜井徹教授らが北陸新幹線建設で調査・懇談会
- ・10月11日 新潟市で並行在来線問題学習会(新潟市)講師派遣
- ・11月1日 上越・糸魚川・妙高各市連絡会学習会(上越)講師派遣
- ・11月7日 北信越5県連絡会学習・交流会(直江津)
- ・11月12日 新潟・妙高と信越本線を考える会(妙高)連帯の挨拶